

## 印刷適性に優れた 高付加価値な越前和紙の試作開発



1 印刷適性に優れた和紙をアピールするため、多彩な色の再現性を確認できる印刷カラーチャートを製作した。2 印刷上の課題であった、和紙の表面のでこぼこ紙ほこりを抑える叩解（こうかい）工程。これまでは原材料の植物繊維を細かくたたいていたが、今回の事業では繊維をすりつぶす「ステンピーター方式」を導入した。3 「ステンピーター」で叩解された原料を使用し、大型の抄紙機ですく。4 越前和紙ならではの風合いはそのままに、印刷適性に優れた新開発の和紙。今後は改良を重ね、より安定した製造を目指していく。

### 洋紙に負けない、印刷適性に優れた和紙の開発。

1500年の歴史を持つといわれる越前和紙。紙幣や賞状から建築用途まで幅広く使われているものの、需要は減少を続けている。そのなか同社は設立以来、合紙機、抄紙機、スクリーン印刷など機械化を進めながら、和紙の新しい加工技術や印刷技術を追求。和紙素材に加え、スクリーン印刷による表彰状や、豊かな色彩表現が特長のオフセット印刷による絵はぎやカレンダーなどの最終製品を提供。和紙の新しい用途を提案している。同社はこれまで、和紙のオフセット印刷において、原料

の植物繊維を細かくたたき叩解（こうかい）工程でピーターという設備を使用し、かすれやひびが入ってしまう課題に取り組んでいた。今回の事業では、洋紙に匹敵する高い印刷適性を実現するため、植物繊維をすりつぶす設備「ステンピーター」を導入。試作を繰り返した結果、和紙の風合いを落とすことなく、印刷適性の高い和紙の製造が可能になった。すでに食品メーカーの商品パッケージにも採用。今後は、叩解工程での品質安定性をさらに高めていながら、多彩な製品展開を目指していく。

### 印刷カラーチャートづくりで、 多彩な色を再現。

高い印刷適性をアピールするため、県内印刷会社の協力により、青・赤・黄・黒の4色を掛け合わせて作る印刷カラーチャートを製作。これまで和紙の印刷では難しかった多彩な色や微妙な色の違いを再現している。

### リードタイムの短縮化、 環境負荷の低減。

植物繊維を細かくすりつぶす「ステンピーター」の導入により、従来の叩解工程と比べて2、3割のリードタイム短縮を実現。また、この工程で使用する薬剤の投入量も抑制することが可能となった。

### 同社の強みである、 最終製品の拡大へ。

同社はカレンダー、ポストカード、メッセージカードなど、最終製品を取り扱っており、大手文具メーカーや小売店などと直接取引している。今回の事業を通じて、さらに多彩な最終製品づくりを目指していく。

### ものづくり 専門員から 一言

エンドユーザーと  
つながる活動で、  
新たな製品開発に期待。

同社は、いち早く和紙の最終製品づくりに取り組み、またネットショップも開設し、エンドユーザーの声に応える製品開発にも取り組んでいる。紙製品の国内市場における和紙の比率は数%に満たないが、今回の事業を通じて、和紙の新しい可能性が広がることを期待している。

### こんな 会社です！

### 異業種コラボレーションで、 「TAKIPAPER」らしさを。

当社の商標「TAKIPAPER」は、越前和紙「滝ペーパー」として1919年（大正8年）にパリ講和条約の調印紙として使われたといわれています。しかし当社は、その伝統に甘んじることなく、製造、販売、さらに製品のアセンブリーにも対応。今回の事業をはじめ、ザンビア産のバナナ繊維を和紙にすき込んだバナナペーパーの封筒開発など、さまざまな企業や人との出会い、コラボレーションにより、新しいTAKIPAPERを提案し続けたいと考えています。



代表取締役社長  
滝道生さん



同社の主力は、ヒット商品になった「ぬり絵手紙」をはじめ、酒造ラベル、名刺、カレンダー、便箋、封筒など印刷対応の越前和紙。



叩解・抄紙工場

### 瀧株式会社

代表者：代表取締役社長 滝道生  
設立：昭和57年10月（創業 昭和40年4月）  
資本金：2,200万円  
従業員数：27人  
事業内容：手漉き和紙・機械漉き和紙・手揉み和紙・合紙・印刷・箔押・吹付け加工  
〒915-0233 越前市岩本町2-26  
☎ 0778-43-0824 FAX 0778-43-0042  
URL <http://www.takipaper.com/>  
E-mail [mail@takipaper.com](mailto:mail@takipaper.com)